

【令和6年度第1回地域福祉活動計画地域福祉懇談会（打ち合わせ）各地区まとめ】

令和6年度 新津中央地区地域福祉懇談会(新年度打合せ会議)報告

日時：令和6年7月2日(火)14:00～15:30

会場：新津地域交流センター3階（多目的ホール1・2）

【出席者】地域福祉活動計画実行委員会：中村会長(コミ協会長)、小林委員(コミ協副会長)、小野沢委員(コミ協副会長)、本望委員(コミ協事務局長)、三澤委員(コミ協健康福祉部)、吉川委員(新津中央地区民生委員児童委員協議会会長)、山口委員(一小地域教育コーディネーター)、池野委員(一中地域教育コーディネーター)、菅井委員(一中地域教育コーディネーター)、地域包括支援センター新津：外川保健師 /計10名
秋葉区社会福祉協議会：横山事務局長補佐(地区担当)、加藤(支え合いのしくみづくり推進員)

【内 容】

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	
居場所	<p>○居場所づくり (三善道憩いの場「絆」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居場所が支え合いの場になっている。 ・「絆」の存在がかなり浸透してきたと感じるが、更に委員を増やしていきたい。 ・コキア植栽活動と併せて、豚汁の炊き出し訓練を行った。子ども達や大人も皆さんに喜ばれ、調理してくれた高齢の女性の皆さんが喜びを感じながらいきいきと動いていた。高齢者が役割を持つことは大事である。 ・高齢者に関する課題は沢山あるが、町内会だけでは対応できないところは、絆が受け皿になっている。支え合いのしくみづくりの場は大切である。 ・町内会からの補助金が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○三善道憩いの場「絆」の継続 ・遊歩道のコキア植栽の継続 ・委員を増やす工夫をする。 ○三善道夏休み自学ひろばの実施 	三善道「絆」の会

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	
居場所	<p>(中沢町・サロンひまわり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月2回、体操やカーリンコンなど、みんなで大笑いしながら楽しく交流する場がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○町内の居場所の継続 	<p>中沢町内会 サロンひまわり</p>
緊急情報キット	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急情報キットの活用 ・コミ協健康福祉部が中心になり、各町内会で実施している。 ・キットのデータ管理及び情報の更新が課題である。更新のチェックをする必要がある。 ・緊急連絡先等情報用紙の記入がされていない。緊急連絡先が大事である。 ・キットが配布されたことを忘れている方もいる。 ・コミ協健康福祉部、常任委員会(自治会・町内会)、民生委員が連携してみんなで更新の声かけをすると良い。 ・全自治会・町内会に課題をなげかけて、考えてもらおうと良い。 ・本人の持病等の情報用紙の備えがあることで迅速な救急搬送につながる。 ・玄関内側に、きらりん丸シールの貼り付けを徹底すると良い。 ・町内によってやり方が違う。(町内ごとに任せている) ・全戸配布しているが、配布後の更新作業が難しい。(本町 3-1 区栄町) ・全戸配布し、健康福祉部員が確認している。(中沢町) ・民生委員としては、おおむね対象の世帯に配布されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急情報キットの活用や周知について検討をすすめる。 ・情報の更新について検討 ・緊急情報記入の啓発 	<p>コミ協(地区社協・健康福祉部) 自治会・町内会</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	
健康関係	<p>○フレイル予防の啓発</p> <p>○認知症についての理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症について詳しく知る、予防を学ぶ機会をつくる。 ・参加者にとって良いものにしないといけない。 ・自分は認知症ではないと意識からか、呼びかけても敬遠されてしまう。 <p>○糖尿病予防の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病が多い区であることから、減少の一助となると良い。 	<p>○フレイルチェックの開催</p> <p>○認知症予防講演会の開催</p> <p>○糖尿病チェックの開催</p>	<p>コミ協(地区社協・健康福祉部)</p>
交流	<p>○ラジオ体操を通じた健康づくりと住民同士のつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりになるだけでなく、ゆるやかな交流となっている。 ・町内の夏休みのラジオ体操が3～5日間で短期間なので、せめてお盆前まで行い、親睦を深められると良いのではないか。 <p>○町内の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症が5類になったが、かつての女性たちの集まりが無くなったが、敬老会は継続できている。(本町3-1区栄町) ・市の福祉バスの利用制約がいろいろあり利用しにくい。 ・町内会行事に新しい人が入ってこない。直接声かけをしていくしかない。 	<p>○ラジオ体操の普及を継続</p> <p>○PTAとの連携を検討</p> <p>○敬老会の継続</p> <p>○行事参加の声かけ</p>	<p>コミ協(地区社協)自治会・町内会</p> <p>本町3-1区町内会</p> <p>自治会・町内会</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	
町内の連携	<p>○町内会と民生委員との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員と情報共有しながら動いている。 ・困りごとの声があれば、対応できるように準備している。 	<p>○町内会と民生委員との連携の継続（田家2）</p>	<p>田家2町内会 民生委員</p>
防災	<p>○地震等発生時の安否確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震度5以上の時は善道公会堂に対策本部を設置し、安否確認を行う(玄関に白い布を付けることで無事を表す)訓練を毎年行っていたが、1月の地震の反省を踏まえ、対策本部立ち上げはせず、グループLINEの活用をすることにした。これからもっと考えていく必要がある。(本町2-2区) <p>○防災訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内に住む消防署職員の協力を得て、心肺蘇生などの訓練をしている。(田家2) ・防災講演会を開催したが参加者が少なかった。(下興野町) ・運動会と併せて防災訓練を再開する予定。運動会をすることで子どもや若い人も参加する。(下興野町) 	<p>○発災時を想定した安否確認訓練の継続(本町2-2区)</p> <p>○防災訓練の継続(田家2)</p> <p>○運動会・防災訓練の再開(下興野町)</p>	<p>本町2-2区町内会</p> <p>田家2町内会</p> <p>下興野町町内会</p>
学校との連携	<p>○学校・PTA・地域とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の地域懇談会が無くなり、PTAと町内会で意見を交わす機会が無くなった。 ・今後は子ども達の保護者と話し合いの場を考えていきたい。 	<p>○PTAとの交わりの機会を検討</p> <p>○地域教育コーディネーターと連携</p>	<p>コミ協(地区社協) 自治会・町内会 PTA 学校</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	
学校との連携	<p>○自学ひろば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自学ひろばの理想形が確立してきていることを実感している。 ・保護者からも大変喜ばれている。 ・3年生の子どもたち約30人が過ごしている。 <p>○小学生とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合学習でどこの地域のサロン等と交流を図れるかを検討している。 ・地域の方々が除雪等の助け合いをしていることを学校、子ども達、保護者に伝えていきたい。子ども達が地域に感謝をする心を育てたい。 <p>○中学生とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災意識が高まっているので力を入れたい。 ・町内行事などに参加することは大事である。 	<p>○自学ひろばの継続</p> <p>○小学生と地域との交流</p> <p>○中学生と地域が連携した防災活動</p>	<p>コミ協(地区社協) 地域教育コーディネーター</p> <p>コミ協(地区社協) 地域教育コーディネーター 地域の茶の間・いきいきサロン</p> <p>コミ協(地区社協)</p>
地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・R5.11月の圏域ケア会議で「身寄り無し問題」について地域の皆さんと意見交換していただいた。個人情報等の壁が課題だが、それを踏まえて今後も考えていきたい。 ・支え合いのしくみづくり会議で、町内の公会堂など地域の多くの皆さんの目に触れるところに、認知症の理解啓発のポスターを掲示すると良いという話から、包括でポスターを作成することになった。 	○地域と連携した課題への取り組み	包括新津

令和6年度 新津西部地区地域福祉懇談会(新年度打合せ会議)報告

日時：令和6年5月11日(土)13:30～15:00

会場：コミュニティスペースやまや

【出席者】新津西部コミ協：蓮沼会長、内田副会長(美幸町町内会長・支え合いのしくみづくり会議構成員)、小松副会長(新栄町町内会長)、
齊藤事務局長

新津西部地区民協：佐藤会長

町内会：川崎会長(古田)、中村会長(山谷町1)、田邊会長(山谷町2・3丁目)、明間会長(天神)、島影会長(美善町)、
青柳会長(さつき野1丁目)、諏訪会長(さつき野4丁目)、川内会長(新津緑町)

ウェルケア新津(セントラルキッチン)：杵鞭代表取締役 /計14名

秋葉区社会福祉協議会：横山(地区担当)、加藤(支え合いのしくみづくり推進員)

【内 容】

	課題・具体的な取り組み(現況)	R6年度の取り組み
生活 支援 ・ 移動 支援	<p>○生活支援の必要性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスみゆきの活動が浸透し、困りごとの相談が来ており無理なく対応できている。 ・新栄町の移動支援は順調に行われている。更に新津緑町の居場所への移動支援も3月試行、4月からスタートした。(新栄町町内会、新津緑町とほっとサポートしんえいと連携) ・高齢化が進み、ごみステーション当番や側溝の清掃ができなくなっている。 →ごみ掃除や隣組長を免除している。 	<p>○生活支援の継続(ビジネスみゆき)</p> <p>○新栄町・新津緑町支え合い移動支援の継続</p> <p>○地域における助け合いができないか検討できると良い。</p> <p>○町内のお手伝いサポーターの募集をして、つながりを広げていく。 (新栄町)</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み
居場所（高齢者・子ども）	<p>○居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハステーションてんじんの会場提供の協力を得て、新規にサロンを立ち上げるようになった。（天神） ・6月より月1回のお茶の間を立ち上げるようになった。（美善町） ・居場所はつながりの場として大切である。毎月集まる機会をつくり、若い世代も参加しやすいように今年度から新たなサロン名で開催している。（山谷2.3丁目） ・コロナが緩やかになり、活動が再開している。 ・子どもの居場所を立ち上げたい。（コミ協・地区社協） ・児童遊園地で子ども達がのびのびと遊べない。（ボール遊びの制限） ・コロナ禍や社会の変化により、コミュニケーションがとりづらくなった。 ・新津緑町の世帯数が少ない為、新栄町の老人クラブに参加している。 ・予算を上手く運用し、目に見える形で活動していく必要がある。 ・互いのつながり、できるだけ元気でいてもらう為にも活動の活発化が必要。→活動が無ければ消滅する。 ・老人クラブの高齢化により、後継者がいないため解散している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○居場所の立ち上げ（天神・美善町） ○居場所への多世代参加の工夫（山谷2.3丁目） ○子どもの居場所の立ち上げ検討（コミ協・地区社協） ○児童遊園地の在り方を行政に働きかけたい。 ○交流や活動の場を作る。 ○「コミュニティスペースやまや」の活用をPR ○老人クラブの活発な活動の促進

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み
緊急情報キット	<p>○緊急情報キットの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬老会お祝い弁当配布時に、緊急情報用紙を配布している。(天神) ・配布登録状況がどうなっているか把握できていない。 ・情報用紙の記入の確認ができると良いが、難しさがある。 ・キットの活用状況、実態がわかると良い。 ・しくみづくりをどうするか検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急情報キットを絡めた敬老祝い訪問の継続(天神) ○緊急情報キット配布先の把握 ○緊急情報記入の啓発 ○緊急情報キットの活用や周知の継続
見守り	<p>○歳末見守り事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6年度からは業者配達ではなく、見守りの視点から地域で協力して届ける取り組みをぜひ進めてほしい。(コミ協・地区社協からの提案) ・地域連携による歳末ふれあい弁当配食の見守りについて3回検討会を重ねて実施した。当日は朝9時30分に訪問し、訪問先の方々が薄化粧や身なりを整えて笑顔も素晴らしく、訪問する側も温かい気持ちになった。個人情報については事前に本人の了解を得る確認を行った。(古田) <p>○安否確認・つながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬老の日に赤飯を配り、安否確認をしている。対象の皆さんが訪問を楽しみに玄関で待っていてくださった。(山谷町1) ・弔問をしている。 ・ひとり暮らし高齢者(妻を亡くした夫)が多い。 ・閉じこもりがちの人が増えている。 ・区の配食サービスを活用してほしい。(セントラルキッチン) 	<ul style="list-style-type: none"> ○歳末見守り事業の拡充(町内会、民生委員、コミ協、地区社協の連携) ○歳末見守り事業の継続(古田町内会・福祉部・民生委員) ○PTAと連携した小学生との訪問(子ども達の手紙を添えて)(山谷町1)

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み
防 災	<p>○災害時の体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体制をどのようにするかを考えなくてはならない。 ・高齢化が進んでいる。高齢者が高齢者を見守ることで二次被害を防ぎたい。（古田） ・安否確認の訓練をしている。（新栄町） ・情報伝達訓練を繰り返し実施することで、把握できない世帯をどうするか考えたい。 ・組を更に分けて連絡先一覧を作り、その組内だけに配布した。必要な情報を共有する。（さつき野1） ・BCPを作成している。（ウェルケア新津） 	<p>○緊急情報キットと併せて検討できないか相談が必要</p> <p>○安否確認訓練の継続(新栄町)</p> <p>○各組単位で世帯確認、情報伝達訓練を行う(天神)</p>
連 携	<p>○学校と地域とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新津第三小学校で毎週木曜日に学校開放をしているので、訪問して欲しい。（学校側にねらい：地域の方々とふれあうことで、いじめや孤独を防ぐ） ・訪問すると情報もあり、子どもたちの挨拶が良く元気をもらっている。 ・地域の多くの方が学校に足が向くよう、花植え活動に取り組んでいる。 <p>○町内会と民生委員との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いに情報共有し、状況に応じて町内会長と民生委員と一緒に訪問している。 ・民生委員が交代しても引継ぎがスムーズだった。 ・小学校新入生の情報書類が来なくなった。 	<p>○地域と学校との関係づくり啓発 （コミ協から各町内に呼びかける）</p> <p>○町内会と民生委員の連携強化 （情報共有が大切）</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み
その他	<p>○町内の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策を考えていく必要がある。 ・新聞のうぶごえ欄に載った世帯にお祝いをしたいが住所がわからない。 ・ほとんどの町内会で家族票を集めている。 ・老人クラブから亡くなった方のお知らせが無くなった。 ・比較的若い世帯が多い町内会である。高齢者世帯は町内全体の約1割であるが、互いのつながりが無い様子である。 ・町内の一般サポーターを募集して、できることに参加して皆で協力し合うようにした。 ・町内で花植え活動を通じたつながりを大切にしている。 ・世帯数が少ないため予算も少ないなか、やりくりが大変である。 ・個人情報の壁の対応が難しい。緊急連絡が必要な時に対応できない。 ・色々な地域の課題があることがわかった。（ウエルケア新津） 	<p>○今年度から生誕祝金贈呈の取り組みの開始</p> <p>○町内会と子ども会が交流できるお祭りの継続</p> <p>○花植え活動を通じた交流の継続</p>

令和6年度 荻川地区地域福祉懇談会(新年度打合せ会議)報告

日時：令和6年6月13日(木)10:00～11:30

会場：荻川コミュニティセンター

【出席者】 荻川コミ協：窪田会長、加納副会長(支え合いのしくみづくり会議構成員)、田中武則副会長、中村副会長、島倉会計、鈴木事務局長
 (敬称略) 荻川地区協議会：田中雄二会長(あおば通会長・支え合いのしくみづくり会議構成員)、加納副会長(こがね町自治会長)、

田村事務局長(中野連合町内会長・中野5丁目)

町内会長：伊藤会長(荻島自治会会長・荻島1丁目)、渡辺会長(車場連合町内会・車場4丁目)

荻川地区民生委員児童委員協議会：中野会長(支え合いのしくみづくり会議構成員)、横山副会長、高橋会計

福祉施設関係：野崎社会福祉士(地域包括支援センター新津)、佐藤理事長(藤の木原福祉会)、高地事務長(おぎの里)、

佐野施設長(ショートステイすずらん施設長)、伊庭施設長(地域活動支援センターいしずえ)

荻川地区社協：関代表(コミ協副会長)、星副代表、関副代表、五十嵐スタッフ、曾我スタッフ /計24名

秋葉区社会福祉協議会：横山事務局長補佐(地区担当)、加藤(支え合いのしくみづくり推進員)

【内 容】

	課題・具体的な取り組み(現況)	R6年度の取り組み	
見 守 り	<p>○おぎかわあったかネットの充実・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在 16 自治会・町内会で実施しており(全 28 自治会・町内会のうち)、孤立防止として取り組んでいる。 ・この見守り活動はご本人や家族から大変喜ばれている。 ・あったかネットにつながると安心でき、次へつなぐことができる。受ける側、する側、双方にとって効果は大きい。 ・利用者が減少傾向(亡くなった、施設入所等)のため、増やしていきたい。また、取り組む自治会・町内会も増やしていきたい。 	<p>○おぎかわあったかネットの拡充・継続</p> <p>(自治会・町内会、民生委員、協力員、老人クラブとの連携)</p> <p><u>※見守りの大切さを啓発</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員と打合せをし、新規利用者を増やす。(こがね町) ・利用したほうが良いと見受けられる高齢者への声かけをしていく。 	<p>コミ協(地区社協) あったかネット協力員 自治会・町内会 民生委員 老人クラブ</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	
見 守 り	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを知られたくない人や気になる人との関わりが難しく悩んでいたが、あったかネットをやることで関わりやすくなった。 ・中野連合町内会(1丁目～5丁目)の各町内の事情があり、あったかネットを取り組むことに難しさがあった。 ・認知症への対応はますます難しくなる課題である。 (どこまで対応したら良いか) ・認知症の定義がわからない。 ・あったかネットのカード配布対象がその町内により異なる。 (70歳以上全員に配布、希望者に配布などばらばら) カードを配布した後の見守り隊への確認が必要 ○歳末ふれあい弁当配食をとおした見守り訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・こがね町、車場3丁目で実施し、訪問対象の方々から大変喜ばれた。 ・1人暮らしの高齢者が増えているため、安心して暮らせる地域を作っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒各自治会・町内会ごとのあったかネット連絡会の実施を広げたい。 ・自治会・町内会と民生委員が連携し、相談していきながら新たに取り組む自治会・町内会を増やしたい。 ○中野1～5丁目も、あったかネットの説明会を開催し、各町内会であったかネットの取り組みについて検討していきたい。 ○認知症講演会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・講師：認知症の人と家族の会 等々力様 ・認知症の方との関わり方について ○認知症サポーター養成講座の実施 	<p>中野連合町内会</p> <p>コミ協(地区社協)</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	
見守り	<p>○民生委員活動としての見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の友愛訪問のほか要支援者、子ども達の見守りを行っている。 ・友愛訪問も希望者が少なくなっている。 ・高齢者1人世帯、2人世帯に利用の声かけをするが、遠慮してかまだ元気に生活しているから大丈夫、子どもが近くにいるから大丈夫、隣近所に迷惑をかけたくないという声がある。 		
緊急情報キット	<p>○緊急情報キット配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミ協(地区社協)にてデータ管理し、全自治会・町内会長の協力により配布している。 ・緊急情報キット配布を通じた見守りを継続 ・該当者自体は多いと思われるが申込みが少ない。人に面倒を見てもらわなくてもいいという人が多い。(荻島3) ・実際にキットを活用したという例は無いが、地道な活動は大切だと思っている。(こがね町) 	<p>○緊急情報キットの配布及び情報内容の更新を継続</p> <p>○回覧板による周知</p>	<p>コミ協(地区社協) 自治会・町内会 民生委員(連携)</p>
居場所	<p>○荻川やすらぎの間(荻川地区の地域の茶の間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日の午後開催している。 ・参加者が喜んでいきいきと楽しく過ごしている。高齢者の健康維持に効果があるので参加して欲しい。 ・高齢化にともない、徐々に参加者が減っているので増やしたい。 	<p>○荻川やすらぎの間の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の孤独・孤立防止のためにも利用者を増やせるようPRしていく。 	<p>コミ協(地区社協) 藤の木原福祉会</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	
居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・R6.2月に藤の木原福祉会の協力による送迎を開始し、自分で歩いてコミセンまで来られない人も安心して参加できており大変感謝されている。 <p>○高齢者の居場所が見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロン、お茶会が見守りの場となっている。 ・元気な方が参加できている。それ以外の方への見守りをどうしていくかが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・藤の木原福祉会と連携し、支え合い移動支援を継続する。 <p>○居場所での見守りの継続</p>	お茶会(あおば通) 各サロン
子どもの居場所	<p>○荻川子ども食堂（居場所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荻川子ども食堂は今年度年5回開催計画している。 ・結小学校区の子どもの居場所「川口ほうかご広場」と連携している。 ・夏場のカレーのいたみ、食中毒の心配があるので7月は川口への搬入を見合わせることにした。 ・結小学校区の子どもの遊び場が少ない。 <p>○子どもの居場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区のみらいビジョンで子どもの居場所について話し合った。 	<p>○子ども食堂と子どもの居場所の連携</p> <p>○夏休みの子どもの居場所づくりを考えた</p>	<p>コミ協 川口ほうかご広場</p> <p>コミ協</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	
ひきこもり	<p>○不登校、ひきこもりの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか民生委員にひきこもりの相談が来ない。 ・ひきこもりについての現状をいかに把握するかが課題である。 ・親子共に、近所や地域、医療などどこともつながっていない人の孤立の現状がある。 ⇒いしずえに紹介して欲しい。 ・孤立している世帯が課題である。 		
防災	<p>○防災への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「我が家の避難所」を全世帯に配布している。 	<p>○「我が家の避難所」の継続（防災の意識啓発）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入者の追加配布をする。 	<p>コミ協(地区社協) 自治会・町内会 民生委員</p>
困った時の相談先	<p>○困った時の相談先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困りごとの相談先がわかるものがあると良い。 ・情報内容に変更があった場合、困らないようにすると良い。 ・身近な地域に相談するという意識が薄いように感じる。 ・福祉の相談窓口として身近な民生委員に相談してほしい。 ・高齢者の認知症に関する相談はどこにするのが良いのか。 ⇒地域包括支援センター新津へ相談 ⇒秋葉区社協に相談しても良い。(相談先につなぐ) 	<p>○相談先一覧の作成し全戸配布する。 (赤い羽根共同募金の助成金を活用)</p>	<p>コミ協(地区社協)</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	
連絡会議	<p>○荻川地区の福祉活動をすすめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成3年より「荻川地域福祉推進連絡会議」を開催している。 	<p>○荻川地域福祉推進連絡会議の継続（年1回開催）</p>	コミ協(地区社協)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動を継続していくことが大切で、そのための工夫が必要である。 ・車場町内会(1丁目～5丁目)会長が同時に2年交代のため、わからないことが多いが、今までやってきた内容を取り組んでいきたい。 	<p>○福祉委員会の開催</p>	車場町内会
福祉施設より感想	<p>(地域活動支援センターいしずえ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議に参加させていただいて、荻川地区の地域活動がわかった。障がいがあると思われる孤立した心配な方をいしずえに紹介してほしい。ひきこもりに関する対応が得意な施設であるため、ぜひ紹介してほしい。 ・孤立していた精神疾患の方が長い過程がありやっと当施設から介護のほうに繋がった方もおられる。 ・若い時からどこにも繋がらず何十年も抱えた問題があることは知られていないと思う。 ・見守りがあることで孤独死が無くなることを切望している。地域の皆さんがこうして頑張っておられることを知り、大変良かった。 <p>(介護老人保健施設 おぎの里)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守ってくれる人がいることは安心した町にし、豊かにすると感じた。 ・施設としては、入所や通所の利用者への見守りはできるがそれ以外の方にはできない。 ・当医療法人でも子ども食堂(秋葉かけはし)をやっているが、荻川コミ協で子ども食堂が行われていることも初めて知った。 ・今後もこのような会議に参加させていただければと思う。 		

(社会福祉法人 藤の木原福祉会)

- ・ 荻川地区の皆さんは素晴らしいとあらためて思った。自治会長・町内会長、民生委員、皆さんの活動が地域への想いが伝わってくる。セーフティネットとして機能していると思う。まず現状把握できるという地域の素晴らしさを感じた。
- ・ 社会福祉法人として公益的な地域貢献活動をするのが義務付けられており、荻川やすらぎの間支え合い移動支援に協力させていただいている。
- ・ 秋葉区社協、荻川地区社協さんのご協力により地域の方々と繋がりができたと思っている。会議に参加させていただくなかで、法人としてできることを考えていきたい。
- ・ 秋葉区社協が中心となる社会福祉法人連絡会がある。地域のための公益的な取り組みを法人が力を合わせて実施しているという組織になる。地域の困りごとについてお声をかけていただきたい。

(地域包括支援センター新津)

- ・ 色々な地域福祉活動が、包括で抱える課題についての支援に繋がられるのではないかと感じた。一番心配な孤立した方を支えるには繋がりが必要で、今日のお話を今後の支援の参考にさせていただきたい。
- ・ 見守りにおける認知症の対応について大変な思いをされていることがわかった。包括では認知症サポーター養成講座を開いている。認知症はこのような症状の病気、認知症の方への対応について知っていただく講座内容。多くの方に受講いただき、今後の見守りに活かしていただけたらと思う。

(ショートステイすずらん・途中退席)

		<ul style="list-style-type: none"> ・(満日の里) 2週間に1回の送迎支援で限られた人数であり、支援の流れができているため、負担はほとんどない。 ・(けやき福祉園) なるべく職員やけやき福祉園の利用者も関わられるようにローテーションを組んでいる。冬場の支援については検討が必要だと思われる。 ・(ぶどう工房) 課題等に思っていることはない。施設側としても地域交流ができてよい。 <p>○未来ビジョンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・癒しの福祉ゾーンの行事と連携しながら考えていきたい。 ・(癒しの里連絡協議会) 癒しの福祉ゾーンでのグリーンフェスタや癒しの福祉ゾーンの夏祭りはコロナ禍で休止しており、R6年度も休止。R7年度は検討中。 	<p>■未来ビジョン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・癒しの里連絡協議会と連携しながら活動を行っていきたい。 	<p>コミ協 癒しの里連絡協議会</p>
総務部会	会報	<ul style="list-style-type: none"> ・コミ協だよりを年2回8月、2月に発行している。 ・総務部として各部会や地域の課題解決を1つでも多くしていきたい。 	<p>■コミ協だより発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知を継続していく。 	<p>コミ協総務部</p>
教育・文化部	交流	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流として花植え、さつまいも栽培と収穫祭を行う。 ・旧満日小学校の体育館で年2回6月、9月に休日親子ふれあい広場を行う。昨年度、7月の第1回は24名、9月の第2回は20名の参加があった。回覧板を回し、周知を行ったが参加者は少ない印象だった。スタッフ4名での対応だったため、負担が大きい。 	<p>■休日親子ふれあい広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も継続して実施し、PTA委員会とも連携しながら世代間交流につなげる。 	<p>コミ協教育・文化部</p>

		<p>かった。今年度は阿賀小学校のPTA委員会から6名が子どもも連れて参加してくれる。小学生は友達同士で参加できるようにしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月に阿賀小学校と連携しながら文化祭を行い、1月にはどんど焼きを行う。 		
環境・安全部	防災	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦を行い、高速道路側道側溝ごみの点検と清掃を行った。 ・交通安全教室では子どもだけではなく、高齢者も含めた活動をしていきたい。 ・今年度は七日町、満願寺の自主防災を中心として防災体制の整備に向けて取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■コミ協としてどこまでできるのか 町内会と連携しながら整備する 	コミ協環境・安全部会
福祉・健康部会	健康講座	<p>○健康講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月にDVD鑑賞を行ったが、人数が少なかった。事前に上映内容について周知しておけばよかった。 ・新規の人の参加者がいない。 ・年間予定の回覧や周知の案内をしている。 ・内容についての簡単なアンケートを実施予定。 ・どうしたら参加するか、参加して何をしたいか聞きたい。 ・隣の方にも声をかけて、参加者が増えるよう盛り上げてほしい。 ・参加者の人数はあまり気にしなくてもよいのではないか。参加したくない自由もある。 ・老人クラブとしても参加してもらえるように声かけをしている。 ・健康講座に参加したくても移動手段がないために参加できない人もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■健康講座 ・参加者が増えるよう検討し、アンケートを実施予定。 	コミ協福祉・健康部会

地区社協特別部会	取 り 組 み	<p>○まんまるサロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して実施し、できるだけ多くの方と楽しみたい。 ・参加者が少なく、メンバーも同じことが多いため、工夫が必要。 ・コミ協の役員の方にも参加してほしい。 	<p>■今年度も継続して実施</p>	<p>コミ協福祉・健康部</p>
		<p>○生き活き講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も年2回継続して実施する。 	<p>■今年度も継続して実施</p>	<p>コミ協福祉・健康部</p>
		<p>○フレイル予防教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月頃に実施予定。 	<p>■今年度も継続して実施</p>	<p>コミ協福祉・健康部</p>
		<p>○声かけ訪問活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人の訪問員で見守りを継続して行っている。 ・訪問者は9名。入院や入所で人数が減っている。 ・今年度から訪問時に非接触型の体温計を持参し、希望者の方の健康管理を行う。 ・新たな対象者の把握として民生児童委員や町内・自治会と連携して、情報共有が必要。 ・友愛訪問と声かけ訪問の人数は合っていない。 ・現在の75歳以上の対象の条件だけでよいのか。条件を広げての訪問も必要か。 ・コミ協として声かけ訪問が必要な方が地域にどれくらいいるのか調べた方がよい。 ・接し方が難しくガイドラインを作成し、訪問員に渡せるとよい。 ・コミ協事業であるが役員が訪問者、訪問員を把握できていなかった。 	<p>■声かけ訪問活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月に引き継ぎを行い、現状や課題を整理しながら継続して実施。 ・コミ協として訪問員のガイドラインを作成する。 	<p>コミ協 地区社協</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・7月に引き継ぎを行う予定。現状や課題を整理したい。 <p>○ボランティア講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、買い物送迎支援をきっかけに施設のことを知ってもらい、地域の方との交流で「障がいの理解」講座を実施したが、けやき福祉園は管理者が変更となり、講座についての引き継ぎはなかった。今年度も実施となれば、コミ協・癒しの里連絡協議会・区社協と検討していく。 	<p>■ボランティア講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も実施するか検討する。 	<p>コミ協 癒しの里連絡協議会 区社協</p>
福祉事業所	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模自然災害が起きた場合、癒しの福祉ゾーンが避難所として協力できる。 ・洪水となった場合にどこに避難すればよいか検討が必要。(特に入所施設) ・七日町に「ひなぎく」という小規模多機能型居宅介護の福祉事業所があり、災害時等の不安や地域との関わりで模索しているようである。次回の懇談会の際でも呼んでみてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の懇談会での参加についてコミ協と検討する。 	<p>コミ協 区社協</p>

福祉懇談会（新津東部地区）	出席者
	新津東部地区社協 古川会長、中野副会長 新津東部地区民児協 小林会長、木津副会長、馬場副会長 包括にいつ日宝町 吉川様 秋葉区社協 横山事務局長補佐、熨斗、小林、米山
日時：令和6年5月16日（木）10:00～11:00	
会場：新津地区勤労青少年ホーム	

		課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	備考
高齢者	居場所	<p>*サロンの現状</p> <p>□草水町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今あるサロンを継続して行っている。 ・参加者は60代～80代。 ・自分で来られる人が参加している。 ・たかつぼの会は移動支援を行っている。 ・なかなか新しい人が入ってこない。 <p>□北上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンが解散した。サロンに足を運ばなくてもできることはある。サロンで行った内容を伝え、心理的な交流を図っている。民生委員がつなぎ役となってやっている。それも一つのサロン参加の形ではないか。 <p>□新町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会主体でふれまち委員と連携してサロンを運営している。 <p>*サロン運営の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やりたいことをやっている。そうしていくと自然と仲間が増えていくこともある。 ・参加者が少なくなっているサロンもあるが小規模 	<p>■サロンについて継続してやれることをする。</p>	各サロン

	<p>でも続けていくことが大切。なくなってしまうと一から立ち上げることの方が大変。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が増えるようサロンの活動内容を魅力あるものにすることが大事。まずはサロンに参加したいと思ってもらい、次に行く手段について考えた方がよい。 ・今いる人が継続して来られる内容にすることも大切。 ・できる人でやっていくことも大切。 ・歩いてサロンに行かなくても関われるものを考える。 ・年をとると人との交流を煩わしいと思う方もいる。 ・サロンへの送迎について本当に必要としている人がどのくらいいるのか、困っている地域からニーズ把握をする必要がある。足があれば行ける人がいる一方で調査等を行い、大ごとになると行かない人もいる。 ・サロンへの送迎を参加者同士で親切で行っている地域もあるが、事故で怪我や車の故障が起きた場合が心配で安易にはできない。 ・区社協の登録ボランティアで送迎等をリードしてできないか。 ・サロンで健康等についての周知や参加することで認知症を遅らせることにもつながる。 <p>* サロンの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者、運営者の高齢化や後継者不足 ・元々あるサロンに新規の人が行きにくい。 ・移動手段のない方への対応 ・世代間交流をしたいが、今サロンに参加している世代と若い世代は感覚が違う。(若い世代は世代間交流をしたいとは思っていないかもしれない) 	<p>■今年度の情報交換会について開催を検討(12月頃予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容については、各サロンの活動のふり返り、移手段、昨年度開催の情報交換会における課題等を検討する。 	<p>コミ協 地区社協 各サロン</p>
--	---	---	------------------------------

		課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	備考
	見守り	<ul style="list-style-type: none"> ・2年前に行ったアンケート調査の結果から高齢者のみの世帯や一人暮らし世帯が増えてきており、除雪や買い物支援、話し相手の減少、ゴミ出しが大変になってきているという意見があり、ゴミ屋敷に近い方もいる。 ・元気な人もいるが、元気でない人もいる。孤立や孤独を防ぐために見守り活動について考えていく必要がある。 ・あいさつ運動が防犯にもつながる。 ・今ある組織（老人クラブ等）の体制を継続していくことが大事。 <p>*歳末ふれあい弁当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新町はふれまち委員で弁当を届けており、昨年度は草水町も実施することができた。 ・飯柳は老人クラブ（43名）を活用できればできるかもしれない。 ・金沢町 1,2 丁目は難しいが、3,4 丁目は福祉委員とも話を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■R4 アンケート調査からの取り組みを検討。 ・ゴミ出しにおける地域の助け合いについて支え合いのしくみづくりと連携（ゴミ出しにおける地域の支え合いについて検討をする） ・あいさつ運動の実施 ・リーダー研修 <p>■歳末ふれあい弁当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き新町、草水町と今年度は飯柳、金沢町で実施できるか検討を行う。 	<p>区社協 ゴミ協 地区社協</p> <p>ゴミ協、地区社協 ゴミ協、地区社協</p> <p>ゴミ協 地区社協 自治会・町内会</p>
多世代	交流	<ul style="list-style-type: none"> ・「初夏の新津川遊歩道を歩きましょう！！」は家族で参加してくれる方もおり、人や地域とつながるよい機会となっている。 ・毎年約200名の参加がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■初夏の新津川遊歩道を歩きましょう！！ ・継続して実施 	<p>ゴミ協 地区社協</p>

自治会・町内会	たえ谷	<ul style="list-style-type: none"> 自治会・町内会ごとの取り組みに助成金を出しているが、申請がない地域もある。 すべての活動が支え合いのしくみづくりにつながるよう活動している。 	<p>■助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> 東部地区社協より助成金を出して町内ごとの活動を支援していく。 	コミ協 地区社協 自治会・町内会
---------	-----	---	--	------------------------

福祉懇談会（阿賀浦地区） 日時：令和6年6月28日（金）13:30～15:00 会場：新津地域学園 304 会議室	出席者
	新金沢町自治会 柿本会長、重川副会長、吉川民生児童委員 東町町内会 湯田会長（コミ協事務局長）、高橋副会長 東金沢自治会 遠藤会長、石川様（副会長代理） 中新田自治会 荒木会長、星野様、佐藤民生児童委員 グループホームあがうら 管理者 小林様、秋葉区社協 横山事務局長補佐、熨斗、米山

課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	備考
<p><コミ協></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は緊急情報キットをもとに継続した活動を行いたい。 ・75歳以下でも見守りが必要であれば、配布を案内していきたい。 ・コミ協としては、見守り活動について声掛けをしていき、各自治会町内会に具体的な活動を任せていきたい。 ・他の事業で発信することがあれば、積極的に発信していく。 <p><中新田自治会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・回覧板を回しても中身を見ていない人が多い。 ・世帯の中でも、全員が見ていない。 ・緊急情報キットや困った先の相談シート等、しっかり見てもらえるように工夫して周知していきたい。 ・退院後、民生委員活動として訪問した際に、自治会にも連絡し共有した ・夫婦共に認知症で、緊急情報キットを渡したことを覚えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■緊急情報キットを活用した見守り活動の継続・周知 ■緊急情報キットを活用した見守り ・取り組み方法についての意見交換会開催 ・回覧板による周知の工夫 	<p>中新田自治会</p>

課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み	備考
<p><新金沢町自治会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近、救急車や施設の送迎車等、頻繁に見かけるが、地域住民の関心が低い。 ・隣近所のことも無関心状態、感知していない。自分事の危機感も薄れてきている。 ・不審者の話が出ていたが、子どもがいない世帯には分からない情報もある。保護者の関心も薄い。 ・回覧板でお知らせをするが、高齢者や子どものいる世帯等で情報が限定されてしまい、何かを周知するにも工夫が必要である。 ・民生委員の訪問で、70代男性の方が、お風呂掃除ができず、包括からヘルパーにつなげてもらった。身体が動かなくなり、お金をおろす制度、デイサービス利用などの手続きが必要になるなど、一度で完結できると良い。 ・支援者が同性でない場合、入り込めないところがある。隣近所の付き合いも希薄になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ■緊急情報キットを活用した見守り ・取り組み方法についての意見交換会開催 	<p>新金沢町自治会</p>
<p><東町町内会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年に1回側溝清掃があるが、今回高齢で清掃ができないと相談があった。組同士のつながりで協働して作業を行った。身近なところから顔を合わせ、困りごとを言える関係性を創っていききたい。 ・毎月末、防災の勉強会を実施し、20名程度参加がある。毎回顔なじみのメンバーで広がりが無い。他人事になってきている。避難所運営3か所。運営が大変になってきている。組織や連絡網等整備していききたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■緊急情報キットを活用した見守り ・取り組み方法についての意見交換会開催 ・東金沢自治会の点検表を参考にしたい。 ■防災勉強会の開催 ・運営や組織、連絡網等の整理を行いたい。 	<p>東町町内会</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・見守りについても検討していきたいが、民生委員も含め見守りスタッフを増やしていきたい。民生委員の友愛訪問も増えてきている。協力できる人を増やしていきたい。 ・昨年度福祉部でアンケート調査を行った結果、買い物が困難であるという結果であったため、今年度15回シリーズでスマホ教室を開催する。1回目は15名参加。最高齢83歳。説明職員はドコモ会社。 ・コロナ前までは、まちづくり懇談会を行っていたが、復活させたい。PTA役員にも話をするが、消極的である。若手も入れて考えていきたい。 ・昨年度、敬老会と緊急情報キットの申込みを対象者へダイレクトメール送付。今年度も同様に行う予定。 ・友愛訪問は断られたが、緊急情報キットは受け取ってくれた。その際に、民生委員の名刺を渡していたところ、姪っ子から「近所付き合いがなく、心配だ」と連絡があり、再度つながった。 <p>＜東金沢自治会＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、緊急情報キットの点検表をもとに自治会役員で対象世帯を訪問した。正しく使えていない方や、なくした方も多かったため、再度配布した。 ・年度末の総会で緊急情報キットの説明を行い、周知した。 ・今年度も7月末に自治会役員が点検表をもとに訪問する予定。その後課題の共有をしていきたい。継続的にしていきたい。困りごととも聞いていきたい。 ・施設入所した方の緊急情報キットの名簿をどのようにしたらよいか課題である。 ・災害時や外出時に、緊急情報キットが携帯できると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ■スマホ教室 <ul style="list-style-type: none"> ・15回シリーズで、高齢者向けにスマホ教室を開催 ■敬老会 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急情報キットの申込みを継続する。 ■緊急情報キットを活用した見守り <ul style="list-style-type: none"> ・取り組み方法についての意見交換会開催 	<p style="text-align: center;">東金沢自治会</p>
--	---	---

<p><新金沢町自治会 見守り事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月に全戸調査のアンケートを行った。組長に説明した際は、取り組みについて知っている様子であった。 ・高齢者は、他の方に遠慮している。 ・若い人と高齢者と認識がズれている。 ・これから高齢者が増えていくので、さらに考えていく必要がある。 <p><グループホームあがうら和></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの時に開設し、地域住民と交流ができていない。 ・施設内での祭りは昨年度から再開した。 ・防災訓練等、今後地域との関わりを持っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■アンケート調査をもとに、課題の整理を行う ■防災訓練等、地域との関わりを増やしたい。 	
---	--	--

		<p>人の家に入りにくい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミ協として支え合いで訪問する部門を立ち上げることも考える必要がある。 ・自治会や隣組等で話し合いを行い、地域でゴミ出しができるしくみづくりを考えていきたい。 		
	支え合い	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家や高齢化、高齢で一人暮らしの方が多。 ・認知症や介護者を抱えている世帯もあり、自分のことだけで精いっぱい介護疲れやストレスもある。 ・困っている家がどこにあるか分からない。 ・他の人の家に入ることは勇気がいる。 ・隣近所に頼むこともある。 ・困った時は「助けてほしい」と声が出せるように支え合いを地域でつくる必要がある。 ・隣組で助けあうしくみをつくったらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■自治会と連携して助け合う ・自治会と地域の助け合いを連携してできるか検討する 	<p>コミ協 自治会</p>
高齢者	移動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度はこぐち苑と検討を行い、車は貸し出しできるが送迎の人員不足のため、実施には至らなかった。 ・つるし雛の際には1日限定だが、さくら交通に協力してもらい、送迎バスを運行した。(20名利用) ・バスの中で住民同士の交流ができ、好評だった。 ・今年度のコミセンで行事があるときはさくら交通に協力してもらいながらバス運行ができるとよい。 ・大きなイベントのときなどにバスを回すなどできたらよい。 ・4/1から下新線のルートが変更となり、新しく新関小学校前に停留所ができた。 ・乗車率が上がっており、コミセンにも来やすくなったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■移動支援として行事ごとに送迎バスの運行ができるとよい ・さくら交通と連携しながら、移動支援として送迎バスの運行ができるよう検討する 	<p>コミ協</p>

連携	自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会との連携は大切だが、役員が2年で交代してしまう。 ・来年度は小口と金屋以外の自治会はほとんど交代してしまう。 ・自治会がコミ協の活動を理解できているか。 ・自治会によって認識が違うため、一体感をもって進めることが難しい。 ・自治会とコミ協が連携できれば助け合いもできる。 ・各専門部で見れば、活動の中に自治会との連携はある。 	<p>■自治会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各専門部の活動を通じた自治会との連携を継続して行う 	<p>コミ協 自治会 区社協</p>
----	-----	---	--	----------------------------

<p>地域福祉懇談会（小合地区）</p> <p>日時：令和6年6月19日（水）13：30～14：30</p> <p>会場：小合地区コミュニティセンター 集会室</p>	<p>出席者</p> <p>小合コミ協：阿部会長 野瀬山副会長 井浦副会長 澤田副会長 高橋副会長 今井事務局長</p> <p>地区社協：伊藤幹事 井村幹事 古川幹事 岡田幹事 四柳幹事 高野幹事</p> <p>サロン：大鹿ふれあいサロン鈴木代表 サロンとき吉田代表 サロンさくら会井浦代表代理</p> <p>子成場いきいきサロン大竹代表 大秋にぎやかサロン星野代表 蕨曾根いきいきサロン高野代表</p> <p>ふれあい興寿小田代表</p> <p>包括こすど：木村センター長</p> <p>秋葉区社協：横山事務局長補佐 小林</p>
---	--

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
見守り・交流	<p>○コミ協の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月、12月になじらて訪問を実施予定。 →全地区から名簿の作成協力をいただき、6月中に準備を行う。 ・歳末見守り事業は区社協と内容を相談し、今年度も実施予定。 ・6月に小・中学校一斉に自主防災訓練を実施予定。 ・クリスマス会など、親子を交えた多世代交流に取り組む。 ・健康福祉課と連携し、フレイルや生活習慣病予防を実施する。 	<p>○見守り活動の継続</p> <p>○多世代交流行事を継続</p>
居場所	<p>○サロンについて（コミ協）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミ協が中心となり、サロンの活動がない地域を対象に、交流ができるようにしたい。 ・コミ協が地域の受け皿となり、地域でサロンの活動ができるようになるために、支援を行っていききたい。 →サロンがある地域も対象として、小合全体で考えることも検討してほしい。 地域に確認しないと需要がわからないし、広報する場合はチラシ等が必要。 	<p>○サロン活動の継続</p> <p>○小合コミ協でのサロン立ち上げを検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容の整理 ・チラシ等の検討 ・地域のニーズ確認

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・小合小とも連携し、子どもと交流をしていきたい。 （サロンさくら会） ・高齢化があり、若い参加者がいない。 ・手伝いを呼びかけると来てくれるため、声かけが重要。 ・子どもとの交流など、新しいことをするのは大事。 ・地域の居場所づくりが必要だと感じる。 （大鹿ふれあいサロン） ・参加者は高齢者が多いが、元気に参加している。 ・若い人にも積極的に声をかけ、参加を呼びかけていく。 （包括こすど） ・小合地域はサロンが多く、活発である。 ・サロンの継続は難しいが、住民から楽しいという声も聞かれ、地域の居場所となっていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動内容の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・屋外での活動を増やす ・世代間交流を検討 ○若い世代の参加呼びかけ

令和6年度 金津地区地域福祉懇談会（新年度打合せ会議）報告

<p>福祉懇談会（金津地区）</p> <p>日時：令和6年5月26日（日）13:30～15:45 会場：金津地区コミュニティセンター</p>	<p>出席者</p> <p>金津コミ協：青木会長、中野副会長、佐久間副会長、清田会計、菅森事務長 金津地区自治会町内会長会：伊藤副会長 金津地区社協：小林委員長、源川委員 金津地区民児協：茨木会長、太田副会長、長谷川副会長、高橋民生委員、沼田民生委員、山崎民生員、小玉民生委員、長谷川民生委員、宮崎民生委員 就労支援事業所メロディ：五十嵐施設長 地域包括支援センターこすど：木村センター長、石黒社会福祉士 秋葉区社協：横山事務局長補佐、藤田</p>
--	--

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み
居場所	<p>○茶の間の送迎支援について （地区社協主催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶の間に来たくても来れない方の支援としてタクシーを活用した移動支援について、本格実施のためにガイドライン（ルール作り）を作成した。コミセンに来たことがなかった人や遠慮があった人からも参加があり、とても評判がいい。 ・タクシー会社の人手不足もあり、タクシーの確保が難しいことや乗車できる人数に限りがあるため、誰でもというわけにはいかない等、課題がある。 ・安心して参加してもらえるよう地域の委員が声をかけ、おしきせにならないよう声かけの方法やタイミングには配慮している。 <p>○茶の間の運営につて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会が主体となって開催していることを周知し、誰でも参加できるよう 	<p>○「地域の茶の間いっぶく」での送迎支援のガイドライン作成</p> <p>○各地区の茶の間の継続した運営</p> <p>○安全面の検討</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R 6 年度の取り組み
見 守 り	<p>センが子どもたちの心休まる場の一つになってほしい。</p> <p>○高齢者の見守り活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者が交代したことで、見守りの継続に至らなかったが、いつでも顔を出すこと、訪問することを声かけしている。（あい愛訪問） ・対象者の記録をしており、改選時に担当が交代する際には、なるべくスムーズにいくよう引継ぎをしている。（友愛訪問） ・訪問した際、誰とも話さない日があるという話を聞く。 ・耳が遠く、茶の間等には参加はしないが、友愛訪問で訪問することは喜んでいただいている。 ・今後は高齢男性の一人暮らしが増えていくと思われ、一人ということに対して先行きのことを心配している声が聞かれる。 ・自治会長であっても全ての情報が入ってくることはない。 ・友愛訪問対象外の世帯でも認知症等気になる世帯がある。 <p>○認知症について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服装が季節と違ったりと、認知症の疑いがあることに地域の方が気づいている。 ・家族の想いと地域の対応に違いがある。 ・家族が近くおらず、ものとりれ妄想の症状がある方について、どのように対応したらいいだろうか。 <p>○子どもの見守り活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども安全パトロールで危険箇所等があった場合は、自治会長や学校と情 	<p>○あい愛訪問の継続（地区社協）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続した見守り活動の工夫 <p>○友愛訪問の継続（民生委員）</p> <p>○情報共有・連携 （地区社協、自治会・町内会、民生委員）</p> <p>○認知症の理解の周知</p> <p>○子ども安全パトロールの継続（民協）</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R 6 年度の取り組み
見守り	<p>報共有を行っている。（民協）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員に子どもたちに関する相談があまり伝わってこない。 <p>○通学路の安心・安全について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の部活後の暗くなる時間帯に対応できるようバスダイヤの改正を行い、また利用しやすいよう予算内で運賃を無料で対応し、子どもたちの通学路が安心・安全になるようにした。 ・びいす金津の活動がコロナ禍でP T Aから離れた活動になっていたが、コミュニティスクールのメインの活動となったことで、P T Aを主体としたみんなで子どもたちを守る持続可能な取り組みにしていきたい。 ・登校時に地域内を見回り、子どもたちと挨拶できる関係になっている。 	<p>○下校時の安心・安全につながるバス運行</p> <p>○びいす金津の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P T Aを主体とした持続可能な取り組み
助け合い	<p>○ごみ出しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所づきあいの中で、体が不自由でゴミ出しが出来ない方いることがわかり支援につながった。支援が必要な方がいるかわからなければ、支援につなげることは出来ないため、近所付き合いが一番大切である。 ・ごみステーションが近くにあるとは限らず、足が不自由な方や台車に載せてごみ出しをしている高齢者もあり、町内で検討が必要である。 <p>○移動支援について（茶の間以外）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免許返納したときには、買い物支援などが必要となる。 <p>○地区内の福祉活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる活動、事業等を通じて声なき声を拾い上げ、期待に応える活動を 	<p>○ごみ出し支援が必要な方の把握と検討</p> <p>○免許返納後の移動支援の検討</p> <p>○福祉活動の情報共有</p> <p>○支え合う地域づくりの推進</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R6年度の取り組み
助け合い	<p>していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会内の福祉活動について調査を行い、5年前から1歩ずつ進んでいる状況がわかった。とりまとめた情報は各自治会に提供し、町内の福祉活動の参考にしてほしい。（民協） 民生委員児童委員のチラシを配布することで、役割の周知と理解を広め、困ったときにつなげることができる。（民協） 声をかけ合い、顔が見えなければ心配する等、やさしい気持ちを持つ雰囲気地域内にあるとよい。 福祉事業所（メロディ）で、共生社会の実現に向け、65才以上・子育て世帯を対象に、草とり等金津地区限定でまごの手サービスを展開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○障がいのある方の活躍の場（就労支援事業所メロディ）
防災	<ul style="list-style-type: none"> ○防災への取り組み（コミ協） <ul style="list-style-type: none"> ・元旦の地震では、人材がいないということで福祉避難所が開設されなかった。また、避難所を開設したが課題もあがり、市へお願いしている。 ・小・中学校との合同防災訓練を継続して実施する。 ・新津高校での防災の取り組みに協力し、金津の防災への取り組みが地域外へも広がっている。 ○災害時要支援者への対応（自治会町内会） <ul style="list-style-type: none"> ・元旦の地震の際、まずは自分と家族の家を守り、その後役員と町内を回って歩いた。その後、要支援者へ電話をしたが、情報に誤りがあり全く繋がらず、まずはそこから整えていかないと具体的な取り組みが出来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所運営について市へ要望 ○コミ協主催防災訓練の実施 ○小・中学校合同防災訓練の実施 ○要支援者への対応の検討 ○個別避難計画の作成に向けた連携

	課題・具体的な取り組み（現況）	R 6 年度の取り組み
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・役員も仕事をしており、対応が遅れ気味になる。 （民協） <ul style="list-style-type: none"> ・個別避難計画の作成には、自治会と情報共有・連携しながら対応したいが具体的などころには至っていない。 ・民生委員としての役割の大枠はまとめた。町内会との連携は、町内によって違ってくるので決めることは出来ない。 	
自治会町内会	○情報共有 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の会長、役員が1、2年で交代するところが多くなっている。 ・自治会から選出された民生委員や地区社協委員、コミ協専門部員と自治会長との情報共有や顔の見える関係が大事である。 ・男性はコミュニケーションが少ない。 ・役員会議では、意見の言いやすい雰囲気があり、色んな意見が出せる。 ・民生委員に入ってきた情報は、自治会と共有している。 ○取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・小さな町内という状況の中で、地域を活性化していかなければならない。まずは地域のエネルギーを集約するため、公園の環境整備のボランティア組織を立ち上げたが、福祉活動に転化するのは難しい。 	○自治会・町内会内の関係づくりと情報共有 ○自治会・町内会内の福祉活動の推進

令和6年度 小須戸地区地域福祉懇談会（新年度打合せ会議）報告

福祉懇談会（小須戸地区）	出席者
	<p>小須戸コミ協：木村会長、佐藤副会長（事務局長兼務）</p> <p>福祉部会：長澤部会長、田中副部会長、米田部員（支え合いのしくみづくり会議構成員）、五十嵐部員（支え合いのしくみづくり会議構成員）</p> <p>地域福祉計画・地域福祉活動計画推進員：土屋委員</p> <p>小合・金津・小須戸圏域支え合いのしくみづくり会議：大貫構成員</p> <p>ワークセンターほほえみ：又地施設長</p> <p>秋葉区社協：横山事務局長補佐、小林</p>
日時：令和6年6月10日（月）13:30～14:45	
会場：小須戸まちづくりセンター	

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
生活支援・移動支援	<p>○地域お手伝い隊について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月に自治会・町内会へチラシを回覧した。問い合わせはあるが、依頼にはつながらず現状0件。 ・回覧の時期や今までの利用者への連絡など、今後どうしていくか検討中。 ・7月に前半のふり返し会を予定。 <p>○移動支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年12月に運転ボランティア5名のうち、2名終了した。その後、ボランティアの募集を行い、新たに運転ボランティア3名、添乗ボランティア2名が参加した。 ・新たに利用者の問い合わせがあり、今後増員した場合、車の複数台利用が可能か緑花園へ相談し、問題ないと返答をいただいた。 	<p>○地域お手伝い隊の活動継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知、活動方法の検討 ・ワークセンターほほえみとの連携継続 <p>○移動支援の活動を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の取り組みを継続 ・新規ボランティアへの活動説明 ・緑花園との連携継続

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
	<p>(水田地区高齢者クラブ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・68人参加者が増えた。今後も地域へ声かけを継続したい。 ・子どもとのラジオ体操を継続し、子どもが主体的に活動できるようにしたい。 <p>○子どもの居場所について (サードプレイス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度のスポーツ体験では、楽しいという子どもの声や、積極性が見られたという指導者の声があり、継続が望まれていた。 ・イベントのような形ではなく、定期的に子どもの居場所のような開催を希望する声があった。 ・気軽に入りやすく、勉強や気分を落ち着かせる場があるとよい。 →開催場所が課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ体験の継続 ○新しい居場所の形を検討 ○子どもの声を聞く機会をもつ
法人連携・交流	<p>○ワークセンターほほえみについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の特別支援学級の職場体験が減っている。 →一日中、学校に居ることが難しい子が増えている。 ・小向の地域との交流ができていないので、復帰を目指したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所と地域の交流を検討

令和6年度 山の手地区地域福祉懇談会（新年度打合せ会議）報告

福祉懇談会（山の手地区）	出席者
	山の手コミ協：横山会長、荏原副会長、保科事務局長、斎藤事務員 防災・防犯部：古泉副部長 環境部：高野部長 福祉部：五十嵐部長 健康スポーツ部：五十嵐部長 ふれあい事業部：井上副部長 小合・金津・小須戸圏域支え合いのしくみづくり会議：栗山構成員 こすど蒼丘の里：澤田管理者（在宅介護支援センター） ほほえみほのか：又地施設長 秋葉区社協：横山事務局長補佐、藤田
日時：令和6年6月6日（木）19:00～20:20	
会場：小須戸地区ふれあい会館	

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
居場所	<p>○茶の間の参加について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者が高齢になり、免許返納や身体的な老化が見られる方が多く、参加人数が減少している。 ・行きたくても行けない人の支援の検討が必要となってきた。 <p>○茶の間の移動支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の地域の取り組みを参考にしたい。 ・この地域は、福祉施設が多く、移動支援について施設と相談していきたい。 <p>○ワンコイン酒場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催は定着してきているが、参加者も定着してきており、色々な人との交わりを考えたい。 ・交流だけではなく、様々な人の福祉活動への巻き込みを目的としている。 ・支え合いを広める、つながる場でもある。 	<p>○参加支援の検討</p> <p>○福祉施設と移動支援についての検討</p> <p>○福祉活動への巻き込みの工夫</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
居場所	<p>○子どもの居場所づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の居場所は大人が対象となっているので、子どもたちが参加できる居場所をつくりたい。 ・色んな世代と交流できるふれあい食堂を開催する。 ・各部と連携し、昼食以外にもポッチャや将棋等遊びの場も提供する。 ・新たな試みなので不安もあるが、色んな世代と交流していきたい。 	<p>○各部との連携</p> <p>○子どもの居場所のニーズ把握</p>
防災・防犯	<p>○防災（コミ協）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災士がどこにいるのか把握していないこともあり、防災士育成講座をコミ協で実施し、地域に防災士を育成していく。 ・防災関係に強い方が移住されてきたので、その方を講師に居所の大切さ等について防災防犯部で講習を行い、ノウハウを学ぶ。 <p>○防災（自治会）について （舟戸1.2自治会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の防災をこれから進めるうえで、図上訓練から始める。 ・班単位の助け合いが大切であり、班の中で支え合いができるしくみをつくっていく。 ・防災に取り組めていない自治会もあり、これから取り組むことが、他地区へ広まっていくとよい。 <p>（要支援者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員が要支援者全員を支援することは不可能であり、自治会との連携が必要である。 	<p>○防災士の育成</p> <p>○防災意識の向上</p> <p>○自治会の防災の取り組み</p> <p>○要支援者の把握と連携</p> <p>○自治会内の支え合いのしくみづくり</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
防災・防犯	<p>(防災の取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災防犯部がすすめる防災と自治会の取り組みがかみ合わない。 <p>○防犯（コミ協）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両にステッカーを貼った防犯パトロールを企業と連携し行う。 	<p>○自主防災組織の活動の支援</p> <p>○企業との連携</p>
支え合い・地域活動	<p>○生活支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶の間から「やろうてば（ボランティア）」「人知笑会（コミュニティビジネス）」の活動へと発展し、一生懸命に活動しているが知らない人が多く、浸透していない。 ・ワンコイン酒場等、つながる仕掛けを行っているが、まだ福祉活動へ結びつかないのが残念である。 <p>○支え合いのしくみづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な行動がなく、成果になるものがない。 ・各地区の取り組みが伝わってこないため、わからない。 ・支え合いを行動に結び付けたい。 <p>○地域活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議のための会議は良くなく、行動することが大事である。 ・1つの事業の実施に向け、1つの部会ではなく、複数の部で連携することができた。 ・何もしなければ課題もない。行動すると課題もあがり、その課題を解決して 	<p>○活動の周知</p> <p>○活動者の広がり</p> <p>○支え合いのしくみづくりの推進（具体的な取り組み）</p> <p>○活動を進める（まず行動し、そして課題を解決）</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
支え合い・地域活動	<p>いくこと、行動しつつ学ぶことが大切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉活動をすすめることは、未来ビジョンにも関わってくる。 <p>○ふれあいまつりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高学年のやっている姿を下級生が見て、自分たちもやりたいと思っている。 ・例年通りではなく、新しいものを生み出すことを目指したい。 ・新しく山の手に入転されてくる方が多く、保護者である若い世代をどのように巻き込んでいくかを考えている。 <p>○地域の子どもたちについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動している子どもたちの様子を見ると、明るく元気で前向きで活発である。 ・子どもたちから手を振ってくれたり交流がある。 ・プライバシーに対して過度なものが見られる世の中だが、この地域では感じない。 ・地域活動に興味を持っていて、子どもたちからコミ協への提案も多い。 <p>○地域の交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入してくる人が多いが、特に若い世代で人の交流がまったくない。特に、母親は子どもを通して交流があるが父親はない。 ・自治会内で男の集まる会を立ち上げ、さいの神や夏祭りを行ってきた。 ・コロナ禍を経て地域内の雰囲気が変わってしまった。 ・子どもが楽しむ会を実施したところ、その後子どもたちからも声をかけてくれるようになり、地域内の会話は大切である。 	<p>○子どもたちの想いを形にする支援</p> <p>○新しい人材の巻き込み</p> <p>○子どもたちとの世代間交流を通した明るい地域づくり</p> <p>○自治会内のつながりづくりの工夫</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
支え合い・地域活動	<p>○未来ビジョンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来ビジョンの仕掛けを検討中であり、アイデアを具現化していく。 ・子どもたちがここで学んでいけるのか、育てていけるのか、5年後、10年後の山の手を危惧している。 ・以前から山の手にいる人だけでなく、新しい人間関係をつくっていきたい。 ・1つ1つ継続した形をつくり、持続可能な取り組みを行っていく。 	<p>○子どもたちの未来へつながる持続可能な仕掛けの検討</p> <p>○転入者とのつながりづくり</p>
地域にある福祉施設	<p>○高齢者の住環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄関から外に出れるかが基準であり、ほんの少しの段差等で外に出ることができない。 ・山の手（一部地域）は家の前に階段等ある家が多い。 <p>○防災への取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別避難計画の作成にあたり、一人一人把握することに難しさがある。 ・まずは事業所のBCP計画を進めている状況である。 <p>○地域とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面談では家の中の状況についてが中心となるが、福祉懇談会に参加したことで、地域の活動を知ることができたので、面談では地域的话题を会話に取り入れていきたい。 <p>○障がいの理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいの事業所を立ち上げる際、自治会長が協力的で山の手地区で立ち上げることができた。 	<p>○高齢者の状況の把握</p> <p>○事業所の防災への取り組み</p> <p>○個別避難計画、BCP計画の作成</p> <p>○支援の中で地域の情報の活用</p> <p>○障がいの理解の周知</p> <p>○地域と事業所の交流</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和6年度取り組み
地域にある福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者を見て小学生が防犯ブザーを鳴らそうとした様子があったので、学校に相談したところ、すぐに動いてくれ、交流した。その後は、子どもたちが施設前を通ると声をかけてくれるようになった。 ・障がいの理解を広げるためには、伝えること、交流することが大切であると気づいた。 	